

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
杵築市	溝井ネギ団地地区	令和3年 1月25日	-年-月-日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1. 7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1. 7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1. 7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1. 0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0. 0ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	1. 3ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地区内の農業者のうち、当該地以外の農地では後継者に営農を継承したいが、当該地では明確にいると答えた農業者はおらず、今後、中心経営体が地区内の農地を 引き受けなければ、耕作者がいない空白地帯となってしまう。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担う。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	A	小ネギ	0.4 ha	小ネギ	1.3 ha	溝井ネギ団地
計	1人		0.4 ha		1.3 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、6筆、16,847㎡となっている。 このうち、担い手が基盤法による利用権設定から中間管理に移行する農地は4,032㎡で、新たな集積は12,815㎡である。
農地中間管理機構の活用方針 既営農者(花き)の3名の利用権設定が満了するタイミングで、グリーンファーム大分が規模拡大する予定である。 更新になるが、農地中間管理機構を活用してグリーンファーム大分が集積を図る。
施設整備への取組方針 農業の生産効率の向上や労働条件の緩和を図るため、地区内に設置している施設の改修・改善に取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)			うち基盤法による貸付から 中間管理への移行
		貸付け	作業委託	売渡	
1	大字溝井字野ノ中	16,847			4,032
	計	16,847			4,032